

## 事業名 青森都市計画道路事業3・4・ 9号図書館通り西田沢線にしたざわせん

「県都にふさわしいというおいのある官庁街」を形成するため、機能整備(歩道融雪)、環境整備(植栽、舗装材、照明等)、景観整備(電線類地中化)を図った事業

受賞機関 青森市都市政策部都市整備課  
事業実施期間 平成6年9月2日～平成11年3月31日  
事業費 1,152百万円

### 技術等の特徴と評価

地下に埋設した銅パイプにより地熱を得て融雪することから、地下水の汲み上げやボイラー使用を伴わないため無公害なシステムとして、環境保全・省エネルギーに効果がある歩道融雪を実施したことが評価できる。

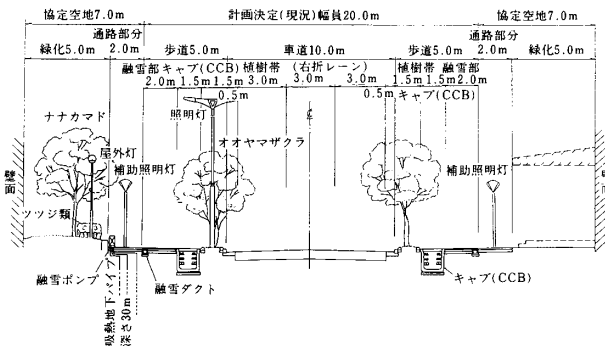
平成に入って一番の豪雪となった今冬においても、有効に機能し市民に好評であった。

### 事業の概要と効果

本計画街路は、青森市の中心市街地に位置し、沿線には県庁をはじめとする各官公庁施設が集中しており、行政の中核管理機能を集積した地区である。

昭和58年度に、地区内に所在する各官公庁が申し合わせ、県庁舎周辺を県都にふさわしい新しい官庁街として整備していくこととし、区域内の施設に対し、高さや色彩の規則、セットバックによるプロムナード計画や緑化整備などについて積極的に取り組むことを義務づける内容の「協定書」を締結した。

街路整備においても、広域的な来街者へ地域の魅力ある都市景観をアピールでき、青い森公園と一体となった緑豊かな市街地回遊動線の核となる街路とし「県都にふ



標準横断面



完成



街路景観



冬期における歩行者空間

さわしいというおいのある官庁街」としての整備が求められた。

効果として、

- ・当市は豪雪都市であることから、冬期間の歩行者空間を確保するため、歩道に地熱エネルギー利用の融雪施設を整備した。さらに歩車道の分離、車両乗入れ部の明確化を図ることにより、歩行者の安全を確保した。
- ・街路の高質化を図るために、植栽計画においては、地域の木であるオオヤマザクラを配置し、青森らしさを演出した。また、青い森公園とともに潤いを演出するため、ベンチなど休憩施設を設けた。
- ・電線類を地中化し、街路照明灯を設置することによって街路景観の向上を図り、また、沿道の緑化帯と青い森公園とを融合し、冬期間を含めた個性的な街路景観を演出した。

受賞賛助会員 パシフィックコンサルタンツ(株)東北本社